

ヘレニズム～イスラーム考古学研究会報告

佐々木達夫・岡田保良

ヘレニズム～イスラーム考古学研究会は、ヘレニズム時代、より厳密にはペルシアの台頭以降の西アジア、中央アジア地域を中心に、遺跡や建築、出土品や工芸品、文字資料を用いて、考古学、美術史、工芸史、建築史、あるいは文献史などの分野の、総合的な研究交流を行う場として生まれました。アジアの西半分を占める広大な地域の人々は、他地域とつねに交流を続けていますので、大きな視野から、この地域の歴史や文化を眺めていくことが会の目的です。この分野の研究者はまだ少ないので、他分野の研究成果を聞き、学問的な刺激を受け、自らの研究を進める手助けになれば幸いです。また、研究交流だけではなく、他の研究分野の方々と親睦を深める場としても利用されています。外国からも発表者をお迎えし、研究交流の輪を広げています。会の運営は佐々木と岡田が行い、年1回の会を金沢大学で開催してきました。会費や参加費もなく、とくに誰が会員というわけでもないという、研究交流だけの会です。

第1回の研究会は1994年の7月初旬、2日間にわたって開催されました。このときはまだ独立した会としてではなく、科研費(代表者 松本健)による研究計画の分科会として企画したのですが、多くの方々の支持と尽力で毎年6月最終週または7月第1週の2日間開催が定例化し、今日の形を取るようになりました。

ここで1999年6月に開かれた第6回までの研究発表を、以下の通り考古、歴史、建築、美術・工芸という4つの分野に分けて振り返り、本会の紹介に代えるとともに、今後より多くの方々の参集を期したいと考えます。なお、第1回研究会の概要は国土舘大学イラク古代文化研究所紀要『ラーフィダーン』15巻(1996)に、それ以後の研究発表の一部は金沢大学考古学紀要に掲載されています。

考古学

Betts, Alison: "Excavations in Choresmia, Uzbekistan"

Potts, Dan T.: "Excavations at Tell Abrak and ed-Dur"

Simpson, S. John: 「ササン朝メルブの発掘」

泉 拓良: 「パルミラの発掘」

岡田保良: 「東方キリスト教遺跡における聖遺物とイスラーム陶器との共伴関係」

小泉恵英: 「パキスタン北西辺境州ハザーラ地方の仏教時代遺跡踏査」「パキスタン、ハザーラ地方シンキアリ地区の仏教寺院址」

小西正捷: "Step-wells of Umm es-Sujur"

西藤清秀: 「パルミラ地下墓の乳児埋葬施設」

齊東方(北京大学): 「中国出土の西方文物」

佐々木達夫: 「アラビア半島アデン湾、オマーン湾のイスラーム遺跡を訪ねて」「サマラ出土品からみるアッパース朝陶器の分類」「ウズベキスタン・カザフスタン・キルギスタン・トルクメニスタンのイスラーム陶器」「ウマイヤ・アッパース朝のアラビア湾岸住居」

佐々木花江: 「ペルシア湾岸で発掘したイスラーム墓廟」「アラビア出土陶器の分析」

部勇造・佐々木花江・佐々木達夫: 「ダキアヌス産陶器」

谷 一尚: 「イスラエルの工房址出土のガラス」「西安東郊隋墓出土の西方系ガラス容器」「中国出土の正倉院型切子ガラス」「ローマ・ガラスとササン・ガラス」

千代延恵正: 「イラン、ハリメジャン村の暮らしとラシュトのパザール」

辻村純代: 「東地中海世界のローマンランプ——シリアとエジプトの比較」「コプト時代の都市構造」「1996年度アコリス調査の概要——エジプトにおけるローマ都市研究の課題——」「プトレマイオス朝のアコリス」「エジプトのギリシア・ローマ時代テラコッタ」「ローマ時代エジプトの家族——アコリスの墓碑銘を中心に」

波頭 桂: 「イスラーム陶器に表された杯をもつ人物像」「メソポタミア9世紀の白釉上藍彩陶器文様」

林 俊雄: 「ダルベルジンテペの発掘」

松本 健: 「レバノンのローマ・ビザンチン時代遺跡」

山内和也: 「ギーラーン・セフィードルド西岸の古墓群について」「拜火神殿をめぐる諸問題」

歴史

足立広明: 「テオドシウス王朝時代のビザンツ皇后のイメージ」

小谷仲男: 「安息雀(ダチョウ)の原産地『後漢書』西域伝条支国の補注」「ソグドの神々とイスラーム・アラブの侵攻」

部 勇造：「『エリュトゥラー海案内記』の遺跡を訪ねて
(I) エジプト～エチオピア」「ガバザ・アドゥーリス・
コロエー：アクスムへの道」

中井義明：「ペルシア戦争は自由のための戦いか——ペル
シア帝国像の再検討」

春田晴郎：「エリュマイス王国研究史上の問題点」「ハトラ
の碑文について」「エリュマイス王国史再考」

建 築

牛木久雄「イラン中央砂漠の伝統水利施設」

岡田保良：「6—10世紀の東方キリスト教建築様式」「メソ
ポタミア古代前期の建築術とその空間」「シリア新発見
のローマ時代遺跡」「ヴォールト構造の系譜」「イラク
のヘレニズム建築」

浜崎一志：「ガンダーラ山岳寺院の調査」「新発見のガン
ダーラ平地寺院跡」

深見奈緒子：「イラン・中央アジア圏のイスラーム墓廟建
築」「イスファハーン建築のテラコッタ文様」「イスファ
ハーン・ジャーミのドームカル・ヴォールトについて」
「ムカルナスの起源」「セルジューク朝のドーム」「ニ
ガールのミナレット——星形断面をもつ塔状建築の
系譜」

山下王世：「エスキ・ファーティヒ・モスクの復元図」

山田幸正：「カイロ都市住宅の歴史的変遷——フスタート
の住居跡からマムルーク朝・オスマン朝の住宅まで
——」「アラブ圏の都市型隊商施設」

美術・工芸

飯島章仁：「ポンペイ壁画におけるヘレニズムの受容と変
容——花綱文とモノクローム彩色を中心に——」「古代
ローマの静物画」「ポンペイ壁画における静物画装飾構
成」「ハギヤ・ソフィアのモザイク」

小谷仲男：「新出土のガンダーラ美術——燃燈仏供養図

——」

甲子雅代「イスラーム文化におけるスィームルグについて」

小林一枝：「ワークワーク文様とワークワーク島伝説」

坂本和子：「大谷探検隊収集の錦について」「パルミラ出土
の織物」

高橋忠久：「トルコの銅・銀職人」「トルコの職人……銅細
工職人の今」

高浜 秀：「オルドス青銅器の兜と飾り帯び」

田辺勝美：「獅子狩図の変遷——パルティア朝からササン
朝へ」「イラン・ターキブスタン大洞の年代」

辻 成史：「エリュデニズ（トルコ、リュキア）の教会群
に見られる増設チャペルについて——形態と機能
——」「リキアの小さき渦潮——10古代学とルネッサ
ンスのヴェネツィア美術——」「小アジア地中海沿岸
のバシリカ会堂様式試論」

鼓みどり：「ユトレヒト詩篇挿絵と古代絵画：景観表現の
源泉について」

津村真輝子：「新疆出土のコイン一括資料」「ウチャ出土コ
インのカウンターマーク」

藤井秀夫：「ハトラ彫刻とアッタール染織品におけるヘレ
ニズム意匠について」

前田耕作：「ガンダーラの古い一枚の浮彫り石板をめぐっ
て」

前田龍彦：「ナツメヤシの図像と意味」「タンバリンをもつ
女性像」

榎屋友子：「13世紀ラスタールタイルのデザイン分類」

宮下佐江子：「パルミラ彫刻と東方ヘレニズム」「向きあう
動物意匠の装身具について」「Guilloche（組紐文）の発
展」「パルミラの墓室彫刻」

横張和子：「シルクロードの織物を考える——サミットの
成立——」

以上

佐々木達夫

金沢大学文学部

Tatsuo SASAKI

Kanazawa University

岡田保良

国土舘大学イラク古代文化研究所

Yasuyoshi OKADA

Institute for Cultural Studies

of Ancient Iraq,

Kokushikan University